

## 教諭を目指す大学生が箕面の森を探検！ ～大学との連携に期待～

### 教諭目線で「森の探検隊」を实践・検証

11月5日、大阪青山大学健康科学部子ども教育学科の学生38名が、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」で、箕面森林ふれあい推進センターが開発中の森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験しました。

同プログラムは、主に子どもたちが、森林内のあちこちにあらかじめ設置された「指令書」の設問を解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。

同大学の子ども教育学科では、教諭を目指す学生が、教育の現場等で役立つ知識を培う学習がされており、大学と当センターが連携・協力し、プログラムの更なる充実のための実践・検証を行う目的で行いました。

学生達は既にあるプログラムの体験を通して、教諭目線で良かったところ、改善点、またどのように改善するか等について検証し、発表してくれました。

大学からは指導者としての取組の意識を持つことに効果があったと評価されました。

当センターでは、大学との連携により、同プログラムの更なる充実とともに、森林環境教育の推進・普及につながっていくことを期待しているところです。



(写真上) 実践後のとりまとめを発表する  
(写真下) 引率者と打合せを行う



探検ポイントについて引率者から説明を聞く



授業の中で検証を行う